

2025年6月24日

ミス・パリ・ビューティ専門学校 大阪校 学校関係者評価報告書

ミス・パリ・ビューティ専門学校 大阪校

(旧 ミス・パリ エステティック専門学校)

校長 大平 愛

学校法人ミスパリ学園 ミス・パリ・ビューティ専門学校 大阪校 学校関係者評価委員会は、2024年度（令和6年度）自己評価報告書に基づいて学校関係者評価を実施致しましたので、以下のとおり報告致します。

1. 開催日時：2025年6月24日（火） 13：00～15：30
2. 場 所：ミス・パリ・ビューティ専門学校 大阪校
3. 参加者

学校関係者評価委員

平山 浩篤 （学校法人ミスパリ学園 事務局長）

（学校法人ミスパリ学園 評議員）

東 千晶 （ミス・パリ・グループ 人事部 部長）

越川 治枝 （ミス・パリ・グループ 教育部 部長）

須賀谷 映子 （NPO法人日本スパ・ウェルネス協会 教育委員長）

事務局 大平 愛 （ミス・パリ・ビューティ専門学校 大阪校 校長）

田垣 真 （ミス・パリ・ビューティ専門学校 大阪校 教育課）

4. 基準項目ごとの学校関係者評価・意見

① 学生アンケートにおける改善点及び改善策

【現状】

本校では在校生に対し、年2回（前期・後期）授業アンケートを実施。アンケート結果を分析し、授業内容や授業担当講師に対しての学生満足度を確認し、課題の抽出及び、改善に努めている。

2024年度におけるアンケートの実施方法・分析結果は、以下の通り。

〔実施方法〕全在校生対象。無記名式。10項目5段階評価及び自由記述によるコメントを求める。

〔実施時期〕前期：2024年7月29日～7月31日 後期：2025年1月22日～1月24日

〔分析結果・取り組み〕

年間を通し、ほぼ全ての項目で講師評価は、90%以上を超える満足度となっており、本校の教育活動に対し、学生より一定の理解と満足度が得られていると判断している。一方で、出席率の低いクラスでの満足度が低い傾向にあるため、対策を行うことで後期には満足度が向上できた。記述式回答では、授業に対し満足している様子やさらに技術力を向上したいなど、前向きな回答が多くあり、また、学校設備や備品等の要望については、早期に改善を行い、設備・備品の使用方法について教育の機会を設け、ものを大切に扱う心の育成へ繋げている。

授業アンケートの結果は、全講師を対象とした面談にて課題と成果の確認を行っている。兼任講師の面談では、現状のヒアリングと授業計画の見直しを行うことで、専門科目授業の質保証・向上を目指している。今後も学習環境が整えられるよう授業アンケートを活用していく。

・・

② 自己評価点の理由

【現状】

2024年度の自己評価では、前年度の結果と比較し、4項目で評価点がポイントアップとなった。特に、トータルビューティ学科の定員充足率が96.6%と前年に比べ28.3ポイントアップしており、学内の魅力を効果的に発信できたとして自己評価している。

しかしながら、進級・卒業率は前年より下回っている為、課題に対し対策を始めている。今回の委員会では、本校での取り組みを中心に、より学校運営を適切に行うための今後の課題と改善策について学校関係者評価委員へ報告し、アドバイス等を頂いた。

(1) 学生受入募集について

入学者の増加に伴い、自己評価点が上がっている。昨年度より導入している入学に向けた「5つのステップ」により、進路スケジュールの見える化をすることで、高校生の進路選びを円滑に行うことができた。また、オープンキャンパスへ保護者同伴での参加を促すことにより、入学者、保護者が納得してご入学いただける流れを作ることができた。さらに、オープンキャンパスでの在校生の接客力の向上が入学者とご家族の安心感に繋がり、来校者数、入学者数の増加に大きな影響を与えた要因であると考えている。今後も在校生の成長の様子を本校の魅力として発信できるよう取り組みを続けていく。

(2) 教育活動・学生支援について

授業計画は、関連企業や業界団体からのご意見を参考に時代のニーズに合わせて修正し、教育課程編成委員会等で関連企業から好評を得ている。学生の習得度の維持、資格取得率の向上を目的とし、定期的に勉強会の実施等、多様化する学生に合わせた対応を行っている。また、講師の指導力のレベルアップを促す環境を整えることができるよう、外部研修へ積極的に参加し、学内の講師研修で共有している。学生支援については、担任制度により、学生の相談窓口が明確となっている一方、多岐に渡る相談内容に加え、相談件数の増加に伴い、スクールカウンセラーの導入等検討事項である。

(3) 学習成果について

本校では、計画的なキャリア教育と企業との連携を行い、就職内定率100%を10年以上維持している。今後は、さらに学生の就職に対する意識を高め、企業の動きに合わせた就職活動支援の早期化に対応していく。資格取得率は、前年に比べ大きく低下している（JE0上級エステティシャン：前年比-14.2ポイント）。実技試験に比べ、筆記試験の合格率が低く、座学に苦手意識の強い学生に対し勉強会の実施回数を増やす等、対策が必要である。中途退学防止対策として欠席者への早期アプローチを行い、保護者との連携を強化している。資格取得率の向上、中途退学の防止を行うためには、学生自身が自立し、意欲的に学びに向かう環境づくりが必要となっており、対応を検討している。

(4) 社会貢献・地域貢献について

中学・高等学校との職業体験授業やコラボゼミ等に積極的に企画・参加し、早期より美容業界への理解を深め定員充足に繋げていく。また、ボランティア活動を通じ、ウェルネス産業、SDGsに触れる機会を増やし教養を身に付け、社会で活躍できる人材の育成を続けていく。さらに、学習成果を披露する場としてビューティコンペティションへの参加を積極的に行い、学生自身の成長と意欲の向上に繋げていく。

③ 重点的に取り組む施策

授業アンケートや自己評価の結果から2025年度の重点的な施策として次の2点を設定する。

1. 定員充足率の向上

『100年続く美容の名門校』を目指し、入学検討者に対しては、「5つのステップ」を活用し、来校や入学に繋がる環境を整えていく。高校生に対し、参加意欲が高まるイベントを企画・開催し、来校者の増加に繋げ、さらに、入学対象者のエリア拡大（九州・沖縄）を行い、定員を確保していく。また、在校生が生き生きとした学生生活を送るための環境を整えることで進級・卒業率に繋げ、学校全体での定員充足率の向上に繋げる。

2. 学習成果、学習意欲の向上

資格取得率の向上、中途退学の防止として、学生が意欲的に学ぶ環境を整える必要がある。アクティブラーニングを取り入れ、学生が自ら学習成果を確認・改善できる授業を実施する。また、自立した『人間力』のある学生の育成を目標に、講師のレベルアップを行い、学習成果に繋げていく。

委員より

- ・兼任講師の授業計画における評価基準のすり合わせ継続が、指導内容、授業計画、学生評価の明確化と授業の質保証・向上に有効である。
- ・就職内定率に加え、卒業生の継続率やキャリアアップの状況などの情報も加えることで、学校の評価がさらに高まる。
- ・学内での取り組みを数値化し、分析・確認できており評価できる。数値化することで、内外からも評価が明確となるため、継続を期待する。
- ・学生を主役とした学内の取り組みが学生募集の成果に繋がっており、評価できる。

5. 全体総括

2024年度は、アドミッションポリシーとディプロマポリシーの共有により、本校のブランド力向上と入学者増加を実現できた。一方で、進級・卒業率や資格取得率の課題も明らかになり、学生の学習意欲向上に向けた教育の重要性を再認識している。

2025年度は、学生の心の成長を促し、「和の心」を身につけた「人間力」ある自立した人材育成に一層注力し、講師陣の指導力強化を通じて学生の自立を促す教育を推進し、資格取得、就職内定、そして高い学生満足度へと繋げ、安定した入学生の確保を実現していきたい。

今後もミスパリア学園からより多くの美容のプロフェッショナルが社会で活躍できるよう尽力し、美容業界の発展に寄与する存在となることを目指していきたい。